



1-6 LAC 特別講座② Subtitle Translation Workshop ～字幕をつけよう～

3月4日(月)3,4時間目本校にて、神戸女学院文学部英文学科准教授の中村昌弘先生による特別講座(2回目)がありました。前回、各グループで字幕を考えたものを、中村先生が実際のショートフィルムに張り付けてくださり、それを全員で鑑賞しました。8グループともそれぞれ違って、同じ英語を訳すのでもこんなに違うんだなあと思いながら見せてもらいました。

最後に全員で投票し、グループ4(太田さん、北林さん、清水さん、畠中さん、山田くん)が10票を獲得して、**winner**になりました!



グループで評価中です。評価のポイントは

①字幕のルールに従っているか ②字幕が読みやすいか ③訳語選択・表現は適切かの3つ。どのグループも意見を出し合いながら評価できていましたね。

How different are you?

→違いの有無ではなく、「違いがある」ことが前提になっている。

How badly are you hurt?

→けがをしているかいないかでなく、「けがをしている」ことが前提。

Emily and Sam didn't know each other that well.

→登場人物は2人なので、「2人はお互いに、、、」とする必要はない。

先生がおっしゃっていたのは、「ただ単に英語を直訳するのではなく、その英文が伝えたい**内容**をしっかり考えて、どんな日本語を使えばその場面を表すことができるかを吟味することが大事」とのことでした。

グループごとに、「お!これはいい!」という字幕があり、後ろで見せてもらいながら、自分ならどんな日本語を使うだろうか、この場面をどう表現するだろうか、と考えていました。字数制限がある中で情報を不足なく伝えるのはとても難しいことですね。次にするときにはもっと上手にできるように、英語の勉強、がんばりましょう!